

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 23 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県陸前高田市横田町字志田実3-11

氏 名 株式会社 長谷川建設

代表取締役社長 長谷川 順一

電話番号 0192-47-5323

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 長谷川建設
事業場の所在地	岩手県陸前高田市横田町字志田実3-11
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	前年度完工高 900,000千円
③ 従業員数	60名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	1, 廃プラスチック類 → 委託処理 2, 木くず → ①委託処理 ②自己中間処理（破碎）→ 委託処理 3, がれき類 → ①委託処理 ②自己中間処理（破碎）→ 再生利用 4, ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず → 委託処理 5, 廃石綿等 → 委託処理

（日本工業規格 A列4番）



(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず	廃石綿等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	1982.13 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）					
	現場から発生したがれき類は、できる限り自社の中間処理施設へ収集運搬して可能な限り再生資源として再利用した。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず	廃石綿等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	1800.0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）					
	現状の取組を継続する。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず	廃石綿等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） —					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず	廃石綿等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） —					

(第5面)

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類 全委託量	木くず	廃プラスチック類	がれき類	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず	廃石綿等
		250.0 t	3.0 t	15.0 t	10.0 t	0.05 t
		優良認定業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	15.0 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 現状の取組を継続する。						
※事務処理欄						

(産業廃棄物の種類: 全体)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

有償物量

不要物等発生量

排出量

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	2,309.310 t	2,078.050 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t
⑩全処理委託量	327.180 t	278.050 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.540 t	15.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③	0	t
	0	

自ら中間処理
する量

④	2,249.350	t
	2,040.000	

④のうち熱回収
を行う量

⑤	0	t
	0	

自ら中間処理した
後の残さ

⑥	0	t
	0	

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦	0	t
	0	

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	0	t
	0	

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	0	t
	0	

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	327.180	t
	278.050	

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	0	t
	0	

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	18.540	t
	15.000	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

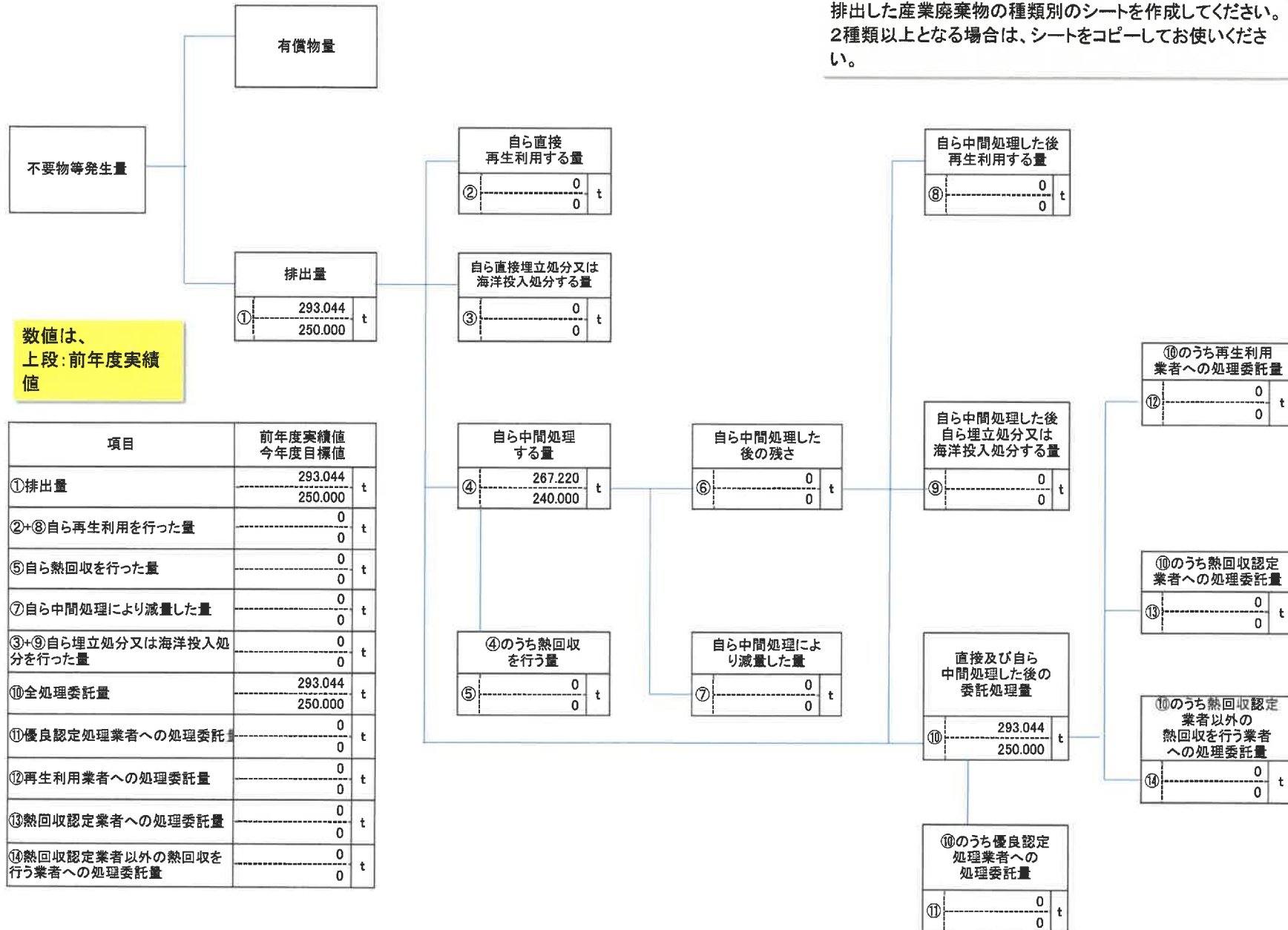
⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭	0	t
	0	

(産業廃棄物の種類: 木くず)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。



(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用する量

② 0 t
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③ 0 t
0

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧ 0 t
0

数値は、
上段: 前年度実績
値

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0 t
0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0 t
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0 t
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨ 0 t
0

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩ 3.256 t
3.000

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0 t
0

自ら中間処理
する量

④ 0 t
0

④のうち熱回収
を行う量

⑤ 0 t
0

自ら中間処理した
後の残さ

⑥ 0 t
0

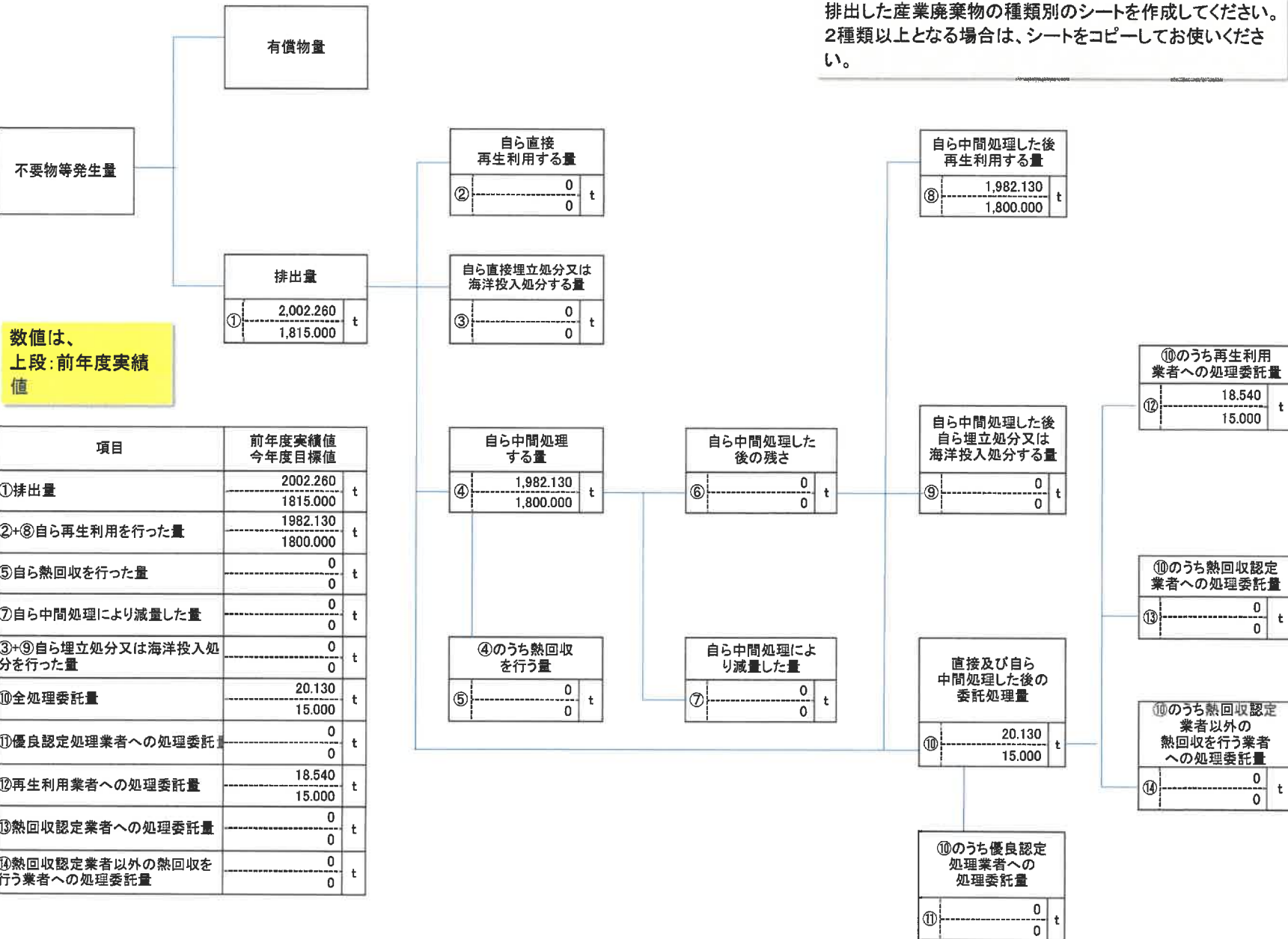
自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0 t
0

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	3.256 t	3.000
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t	0
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0
⑩全処理委託量	3.256 t	3.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0

(産業廃棄物の種類: がれき類)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。



排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

排出量

数値は、
上段:前年度実績
値

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	10.680 10.000	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	10.680 10.000	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0	t

自ら直接
再生利用する量

(2)	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③ $\begin{array}{c} 0 \\ \hline 0 \end{array} t$

自ら中間処理
する量

$$\textcircled{4} \quad \begin{array}{c} 0 \\ \hline 0 \end{array} \quad t$$

④のうち熱回収
を行う量

⑤ $\begin{array}{c} 0 \\ \hline 0 \end{array} t$

自ら中間処理した
後の残さ

⑥	0	t
	0	

自ら中間処理によ
り減量した量

$$\textcircled{7} \quad \frac{0}{0} \quad t$$

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	0
	0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	0
	0

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

10	10.680	
----	--------	--

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	$\frac{0}{0}$	t
---	---------------	---

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

12	0
	0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

13	0
	0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭	0
	0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	$\frac{0}{0}$	t
---	---------------	---

(産業廃棄物の種類:

(特管)廃石綿等

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

有償物量

不要物等発生量

排出量

数値は、
上段:前年度実績
値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	0.070	0.050
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	0.070	0.050
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③	0	t
	0	

自ら中間処理
する量

④	0	t
	0	

④のうち熱回収
を行う量

⑤	0	t
	0	

自ら中間処理した
後の残さ

⑥	0	t
	0	

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦	0	t
	0	

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	0	t
	0	

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	0	t
	0	

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	0.070	t
	0.050	

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	0	t
	0	

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭	0	t
	0	